

読書週間

「信じよう、本のか」

☆国内文学賞受賞作品展

平成22年下半期～23年上半期に発表された国内の主要文学賞(12賞)の受賞作家および作品の紹介・展示を行います。

この1年間の文学界の動きを知る絶好の機会です。ぜひ、ご覧ください。

また、受賞作家の他の作品や各賞の歴代受賞作品を展示するミニコーナーもあります。「読書の秋」に読みごたえのある名作をお楽しみください。

▽期間 10月29日(土)～11月7日(月)



本館

☆歴代本屋大賞受賞作品展

第8回を迎えた『本屋大賞』! 全国の本屋さんがお薦めしたい本を選ぶこの賞は、本への熱い思いでいっぱいです。ぜひ、ご覧ください。

楽しい絵本コーナーも特設しています。



城崎分館

「おいしいおはなし★わくわくクッキング」を開催します。

▽日時 11月6日(日)午後1時30分

▽対象 児童 ▽参加費 3000円

▽申込期限 11月4日(金)

竹野分館

☆読書週間特別企画展

「絆」家族の肖像 ～没後30年 向田邦子の世界～

脚本家としてテレビ業界で偉業を成し遂げ、また直木賞作家としての地位をも築いた向田邦子。何気ない風景や平凡な家族の日常に描かれた鋭敏で独特な感性、深い人間洞察は今なお深く人々の心をとらえて離しません。彼女の描いた家族像を通して、人と人との愛と絆を見つめ直してみませんか。

▽期間 10月26日(水)～11月14日(月)

▽場所 図書館竹野分館前ギャラリー

期間:10月27日(木)～11月9日(水)

終戦間もないころ、「読書の力によって平和な国を作ろう」と始まった『読書週間』も、今年で65回目を迎えます。今年のスローガンは「信じよう、本のか」です。図書館では、この期間、各館でさまざまな催しを行います。皆さんが読書の素晴らしさを知るきっかけとなるよう、多数の本をそろえてお待ちしております。

- ・本館 ☎23-6151
- ・城崎 ☎21-9072
- ・竹野 ☎21-9078
- ・日高 ☎21-9060
- ・出石 ☎21-9010
- ・但東 ☎21-9036



☆芥川賞&直木賞受賞作品展

過去10年(平成13～22年)の受賞作品を集めて展示しています。読書の秋に、読みそびれた一冊を手にとり、過去の名作に改めて触れてみませんか。

▽期間 11月7日(月)



日高分館

☆リサイクル・ブックフェア in 出石

保存期間の過ぎた雑誌などを、自由に持ち帰りいただける「リサイクル・ブックフェア」を開催します。

その他「懐かしのレコード鑑賞会」も行い、子どもから大人まで楽しめる催しです。

楽しいひと時を過ごしませんか。

▽日時 10月30日(日)午前10時～午後3時

※持ち帰り用の袋を持参ください。



出石分館

☆懐かしの国語教科書掲載作品展

誰もが学んだ教科書に掲載された作品を展示します。ふと思い浮かぶ詩やもう一度読んでみたい作品など、子どものころを振り返り、懐かしい作品をお楽しみください。

「秋の夜長をたっぷり満喫!」

おやすみ前にお薦めの作品を紹介します。

▽期間 10月27日(木)～11月9日(水)



但東分館

事務事業評価の結果を

お知らせします！

市では、事務事業を見直し、説明責任を一層強く果たすため、事務事業評価を行っています。

平成22年度事業を対象に、全673事業のうち136事業について評価シートを作成し、担当課が1次評価を行いました。

そのうち12事業は、市民で構成する事務事業評価委員会による外部評価を行い、これらを含めた56事業については、2次評価を行いました。

評価は、A(継続)、B(改善<小>)が必要)、C(改善<大>)が必要)、D(休廃止を検討)の4つの区分で判定し、2次評価では、A・10事業、B・40事業、C・6事業で、D判定はありませんでした。

《問合せ》政策調整課行政改革係 ☎21-9022

1 評価の経過

この取組みは今年で4年目となることから、これまでの全事業を評価する方式を見直しました。対象事業を絞って3～4年のローテーションで全部の事業を評価することで、評価の精度や有効性を高めることとしました。



事務事業数 673事業

- ① 1次評価
評価は、まず、担当課自らが行いました。
- ② 外部評価(事務事業評価委員会による評価)
1次評価を踏まえ、第三者の視点を確保し、評価の客観性の向上や透明性の確保を図るため、専門的知識や市民感覚からの評価(外部評価)を一部取り入れており、12事業について外部評価を行いました。



- ③ 2次評価(最終評価)
外部評価を行った12事業を含む18事業については、市の重要な方針を決定する経営戦略会議で評価を行い、政策調整部での評価と合わせて、56事業の2次評価を行いました。

2 評価の結果

- ① 1次評価の結果

A(継続)	44事業
B(改善小)	87事業
C(改善大)	4事業
D(休廃止)	1事業

- ② 外部評価(事務事業評価委員会)と2次評価

外部評価		2次評価
A	1事業	1事業
B	9事業	11事業
C	2事業	0事業
D	0事業	0事業

外部評価と2次評価では、「青少年健全教育事業」と「生涯スポーツ振興事業」が異なる結果となりました。

外部評価…両事業とも、「青少年を対象とした類似のスポーツ事業などが重複している」と判断され、「類似事業の大胆な統廃合が必要」ということから「C」判定となりました。

2次評価…これを受けて、平成22年7・8月のスポーツ大会の開催状況を調査しました。この結果、市主催事業では外部評価にあるような類似事業の重複はみられず、「B」判定としたものです。



- ③ 2次評価の結果

A	10(13)事業
B	40(39)事業
C	6(4)事業
D	0(0)事業

※()内は、2次評価を行った事業の1次評価での結果です。

2次評価の結果では、1次評価でのA評価がB評価に、B評価がC評価になったものなどがあります。

これは、担当課での自己評価では、改善せずに「継続」としていたものを、評価に際して実施した事情聴取などの結果、改善を必要とする点があると判断したものです。

3 評価後の展開

評価の結果に沿って事務事業の見直しを行うとともに、今後の予算編成・組織改革などに反映していきます。

個々の事務事業の評価結果は、市ホームページで公開しています。

